



おもてなしの気持ちでまちの魅力を伝えたい

香南市案内人会

高知県は今年、幕末維新博の2年目を迎えます。香南市は絵金蔵と創造広場アクトラランドが観光拠点として維新博を盛り上げています。そんな中、香南市案内人会もまちの案内活動を広げています。会長の浜田義隆さんと事務局長の宮崎文敬さんにお聞きしました。

担当／広報編集委員 島村立法

私たちがまちの案内人

案内人会は7年ほど前に「香南市地域雇用創造協議会」の「塩の道案内人講座」参加者が主なメンバーとなり研修を始めました。設立当初は郷土歴史に詳しい赤岡町の野村土佐夫さんを中心に、旧5町村の歴史の現地勉強会などを行ってきました。

その後は、少しずつ観光協会や旅行会社からのガイドの依頼で、年数回まちを案内するようになりました。

地道な活動を経て

現在は22人の会員で活動しています。高知県観光ガイド連絡協議会にも入会しました。

県内外旅行会社などからの依頼で、赤岡町、野市町三叉あじさい街道などや、市外中学校のまち歩き、案内活動も行っています。

高知地域検定香南市(赤岡)編も開催され、案内人会にとって地域活性のあり方につながる意義あるイベントだったそうです。また、昨年は香我美町のまち歩きや、ごめんなはり線トロッコ

ガイド、勤王党の大石圓の勉強会、ものべ川フェスタではバスガイドに6人が参加。さまざまな案内活動を重ねてスキルアップしてきました。

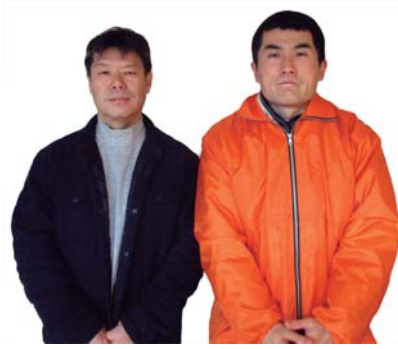
熱心な会員あつてこそ

昨年末、幕末維新博で案内の真最中の「土佐観光ガイドボランティア協会」の皆さんから活動を学ぶ研修会が開催されました。「龍馬の生まれたまち記念館」を案内していただき、まち案内の極意を勉強し充実した研修だったそうです。

また、市文化財センターの文化講座にも参加するなど、自主的に勉強しています。自分が知らなかったまちの知りたいことが一層増え、「知る喜び」とそれを人に「伝える喜び」を感じることが増えました。

会員募集中!

浜田義隆会長は、これからの活動について「香南市内の観光地、郷土史をひとつにまとめた案内版資料を作成中です。それを基にして、案内人がいろいろな所で対



浜田義隆さん

宮崎文敬さん

応できる組織にしたいです。新しい会員も増やし、新しい知識を共有することも大切な目標になっています」とのこと。

宮崎文敬事務局長は「最近はいベントの確認・連絡と案内人の手配が重要になってきました。案内人には高齢の方も多いため、学生や若い方々に自分たちのまちを知ってもらい、案内の楽しさに関心を持って参加してほしいです」と話してくれました。

案内人会は、香南市に来られた皆さんへ「おもてなしの気持ち」で案内することが目的です。「地元の観光・歴史を小中高生にも知ってもらい、町の誇りにしてもらえたら」と地域とのつながる思いも語ってくれました。まちの案内活動に興味がある方は参加してみたいかがでしょうか。

問い合わせ、案内依頼先は…
香南市観光協会 ☎565200

編集後記

▼子どもの頃は、玄関に柀鱈(ひいらぎいわし)が飾られ、鬼のお面をつけて「鬼は外・福は内」と賑やかに豆まきをしたものでした。最近では恵方巻きと歳の数だけ豆を食べて、静かな節分を迎えています。(み)

▼息子(高1)が某イカちゃんディング4位に。冬休みにボクスのプレイ見て「今のええやんとかすこく上から目線に。(た)

▼年末年始で重くならた体を奮い立たせて走った市内の駅伝大会。次の日には全身筋肉痛に。運動不足と正月に美味しいものを我慢できなかった過去の自分を恨むばかりです。(り)

▼2月14日はバレンタインデー。女性から男性にチョコレットを贈るのが一般的な日本ですが、海外では男性が女性に贈り物をする人が多いそうです。ちなみに我が家は365日チョコレットを常備しています。(あ)

《広報へのメール》
kouhou@city.kochi.konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi.konan.lg.jp

マチイロ
スマホで
広報を見よう
「広報紙」はアプリ名称が「マチイロ」になりました。
QRコード